

## 教育総合研究叢書創刊号に寄せて

平成 10 (1998) 年度に開設された本学高等教育研究所は、平成 19 (2007) 年度より、教育総合研究所として新たにスタートを切った。平成 18 (2006) 年度から教育福祉学科が発足し、初等中等の教科教育、比較教育等の研究者の先生方を新しく研究所のメンバーとしてお迎えしたこと、平成 19 (2007) 年度の教育学部の発足により、高等教育に限らず、広く教育に関する研究を展開する研究所となることが求められたことによる。

今年度実施された研究プロジェクトは、「学士課程教育のアウトカム評価とジェネリックスキルの育成に関する国際比較研究」(研究代表者：濱名篤学内研究員、科学研究費補助金受給)、「ステークホルダーが求める初等教育教師の資質能力とその養成課程」(研究代表者：濱名陽子学内研究員)、「効率的なコモンリーディングのための基礎的研究」(研究代表者：上村和美学内研究員)、「アジアの英語教育におけるリーダーシップ：アジアに適した教材の開発と教員養成」(研究代表者：Gerald Williams 学内研究員) の4つである。今年度の研究内容を概観すると、大学教育でのジェネリックスキルの育成とアウトカム評価、大学教育におけるコモンリーディングの教材や手法の開発、初等教育教師に求められる資質能力の析出とその養成、アジアに適した英語教育の教材と方法の開発など、高等教育から初等中等教育にいたる広い領域にテーマを広げ、また研究成果が教育の実践に直結する内容となっていることが伺える。教育総合研究所へと変貌した趣旨に違わぬ研究内容になっていると評価することができよう。

この叢書は、研究プロジェクトのいくつかの研究成果を掲載している。活発な研究活動を展開された学内研究員、学外研究員、客員研究員の皆様に心から感謝申し上げるとともに、教育総合研究所が今後しっかりと本学に根をはり、その研究成果を内外に広げ発展していくことを願っている。

2008年3月

所長 濱名 陽子